

平成 18 年 9 月 22 日

株式会社パシフィックコンサルタンツインターナショナル
代表取締役社長 白井 徳昭

御報告

今般、テレビ・新聞などを通じて会計検査院の調査報告が報道されました。弊社が独立行政法人国際協力機構(JICA)等から受注した16ヶ国20案件の現地再委託調査業務の実施時や精算時に、適正を欠く行為があったとされたものです。これは平成12年度から平成16年度に実施された案件で、昨年、弊社の社内調査でも判明していた案件であります。

今回の上記調査報告において指摘を受けた弊社の行為は、不当な利得を意図して行われたものではないとはいえ、我が国のODA事業への信頼を損ない、JICAをはじめとする日本政府関係機関や国民の皆様、さらに関係外国機関への信頼を裏切る結果となり、大変申し訳なく、衷心よりお詫び申し上げます。

これらの受託案件に係る行為が生じていたことは、ひとえに企業内部統制に重大な欠如があったものと深く反省し、弊社は、適正を欠く行為が生じた一連の原因を徹底的に解明し、業務のプロセスをチェックする体制を見直し、新しい体制で業務を実施しております。

これからも、全社をあげて社員一丸となり、不祥事の再発防止に努め、信頼の回復に取り組む所存でありますので、今後とも、弊社に対する皆様のご理解とご支援を心からお願い申し上げます。